

朝日生命成人病研究所附属医院に通院中の患者様へ

診療記録を利用した後ろ向き観察研究への協力をお願い

研究課題	胃粘膜萎縮、腸上皮化生と機能性ディスペプシア諸症状との関連
研究の目的、および概要	高齢化が進む本邦において、消化器症状は患者様からお聞きする最も多い症状となります。近年ピロリ菌感染より生じる諸症状である、ピロリ菌関連機能性ディスペプシアが注目されております。しかし内視鏡的胃粘膜萎縮や腸上皮化生といった慢性胃炎所見と、GSRS（消化器症状の詳細なアンケート）の詳細な関連を解析はこれまでされてきておりません。当院では長期間にわたり、内視鏡時に GSRS の聴取にご協力いただいております。これらの集積した情報を解析することで、今後の診療に役立てる事を目的としております。
対象	2010年1月1日～2022年12月31日まで上部内視鏡を受けており、GSRSの聴取を受けている方々
方法	本研究は朝日生命成人病研究所附属医院倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記載されている、年齢、性別、BMI、血圧、血液・尿検査、糖尿病歴、既往歴、治療内容を調査し、直近の検査データを用いて統計学的解析を行います。過去の診療記録を用いて行う研究ですので、該当する患者様の現在・未来の診療内容に不利益を与えることはなく、また、新たにご負担いただくことはありません。
研究者	朝日生命成人病研究所附属病院 消化器内科 新井絢也、藤原弘明 糖尿病内科 春日雅人、吉田洋子、大西由希子、田原たづ、菊池貴子、小堀勤子、窪田哲也、高瀬暁、岩本真彦、越野那智
利益相反	本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

本研究に関してご不明な点がある場合や、あるいは、データの使用に同意されない場合には、下記連絡先にご連絡いただけますようお願い申し上げます。また、本研究への参加をお断りになった場合にも、将来的に当院における診療・治療の面で不利益を被ることはございませんのでご安心下さい。

研究責任者：朝日生命成人病研究所附属医院 消化器内科 主任研究員 新井絢也

住所：東京都中央区日本橋馬喰町 2-2-6

電話：03-3639-5501